

快適な暮らし

木の家が持つ魅力をチェック。

ホッと、やすらげる家。

希望を叶える設計。

長男の航くんがリビングでぐっすりと気持ちよさそうに眠っています。こは、2019年3月に完成した、小松さん一家のマイホームです。

彼の誕生をきっかけに、いろいろな完成見学会に足を運び始めたご夫妻は「木と人・出会い館」の館長である塩田正興さんに出会います。3人で様々な対話を重ね、しっかりと固めたマイホームのイメージ。設計士の大井達司さんに細かくリクエストすることで思い通りの家が完成しました。一つの空間としてのつながりが欲かったという奥様の希望は吹き抜け。家全体に解放感を与

え、天井に設置されたシーリングファンが室内の空気を循環させています。雨にぬれずに車の乗り降りがしたいというご主人の永敏さんの希望は、駐車場の屋根兼バルコニーという形で実現しています。

気持ちよく暮らせるCUBE。

「香りの良さはもちろんですがすごく楽に呼吸できる気がします」と話す奥様の綾さん。木に囲まれた空間は、どこか空気が特別のようです。「木の手触りが大のお気に入り。意味もなく柱などに触っては、安らいでいます」と笑います。

子どもと遊ぶ時間が増えたと話す永敏さん。「一緒に走り回ったり、寝転んだりしています。言葉にはしないけど、子どもも木の手触りや香りを喜んでいるみたいと目を細めました。

最後に、とっておきのエピソードを1つ。「家の土台部分に使用した木は、僕らにとってもっと特別です。我が家が先祖代々受け継いだ山を大切に守り続けてきた、山が大好きな父が保管していたヒノキの木なんです」と、嬉しそうに教えてくれた永敏さん。その様子を、綾さんが優しく見守っていました。

小松さん一家の木の家は、心も体もリラックスさせてくれる素敵な場所でした。



建築中の名称は「小松邸」ではなく「Yuzu CUBE」。ゆずは小松家のアイドル犬です。



野地板や垂木などをあえて見せるデザインで、木の魅力を活かします。



静かな住宅街にモダンな建物が違和感なくマッチ。

AR



モリリン ③

高知県からのお知らせ

全国一の森林率84%を誇っている高知県。その木を使って、風土に合った家を建ててみませんか。県では、「こうちの木の住まいづくり助成事業」であなたを応援します。柱や梁等の8割以上に県内産乾燥木材を使うと、量に応じて、最大100万円の補助金がもらえます。

【要件】

高知県内で新築、増築、リフォームを行う木造住宅

- 延べ面積の過半の用途が住宅であること
- 県内産乾燥木材を使用すること
新築・増築の場合…基本部位に80%以上使用すること
リフォームの場合…リフォーム部分の木材に使用すること
- 新築及び増築は瑕疵担保責任保険加入等住宅であること

【対象者】

対象住宅を取得(所有)し、自ら居住する個人(賃貸を目的とするものは除く)

申込や申請の手続きは、建築士が行政書士に委任できます。提出書類には設計や施工に関するものが多く必要なので、建築士に委任するのが一般的な方法です。家を建てることが決まったら、建築士さんに一度ご相談ください。補助額の算定方法や手続きなど、制度・事業の詳細については高知県庁HPをご覧ください。

【補助額】

①基本部位、その他の部位

県内産乾燥木材の使用量m³(小数点以下切捨て)×13,500円=補助額①(1,000円未満切捨て)

②県内産JAS製品加算

県内産JAS製品木材の使用量m³(小数点以下切捨て)×2,000円=補助額②

③内装化粧仕上げ材

県内産乾燥木材の使用面積m²(小数点以下切捨て)×2,000円=補助額③

④長期優良住宅加算

長期優良認定木造住宅/20万円加算(地域型グリーン化事業など併用できない事業もあります。)

①+②+③+④の合計の上限は100万円

⑤子育て加算

対象者の世帯に児童手当受給対象となる児童が3人以上いる場合 ③の内装材と同額を加算

こうちの木の住まいづくり

検索



取材協力／木と人出会い館

木と人であい館

検索

住所／南国市緑ヶ丘1201-5
TEL／088・879・3304

時間／10:00～17:00
休館／火・水曜



この日の取材の様子はこちらから。



YouTubeチャンネル
「もりりん」

